A 試合会場レポート

試合番号 **205**　開催日 **2019/02/03**

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN　レギュラーラウンド

会場： **熊本県立総合体育館**

観客数:1757	開始時刻:11:00	終了時刻:12:58	試合時間:1:58	主審:小野　将人	副審:浅井　唯由

パナソニックパンサーズ

監督　：川村　慎二
コーチ　：モッタパエス　マウリシオ

通算　：**20** 勝 **2** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：**59**

JTサンダーズ

監督　：ヴコヴィッチ　ヴェセリン
コーチ　：菅　直哉

通算　：**15** 勝 **7** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：**47**

3	**20**	第1セット【0:23】	**25**	**1**
	25	第2セット【0:27】	**22**	
	25	第3セット【0:27】	**19**	
	27	第4セット【0:32】	**25**	
		第5セット【】		

ﾎﾟｲﾝﾄ **3**　【 】内はセット時間　（）内は交代選手　ﾎﾟｲﾝﾄ **0**

<監督コメント>

終始ハードな戦いだった。
第１セットはサイドアウトが取りきれず、苦しいスタートとなったが、第２セット以降は我慢をしながら、よく集中し、戦い抜いてくれた。
まだ試合は続くので、この良い集中力を保ち、来週につなげたい。
本日もたくさんのご声援ありがとうございました。

20	福澤	白澤(大竹)	**第1セット**	劉	深津	**25**
		ｸﾋﾞｱｸ		小野寺	安永	
	山内	深津(清水)		ｴﾄﾞｶﾞｰ	山本	

リベロ: 永野　リベロ: 井上(航)

25	大竹(新)	白澤	**第2セット**	深津	安永	**22**
	福澤(久原)	ｸﾋﾞｱｸ		劉	山本	
	山内	深津(清水)		小野寺	ｴﾄﾞｶﾞｰ	

リベロ: 永野　リベロ: 井上(航)

25	大竹(新)	白澤	**第3セット**	劉(吉岡)	深津(八子)	**19**
	福澤(久原)	ｸﾋﾞｱｸ		小野寺	安永(筧本)	
	山内	深津(陳)		ｴﾄﾞｶﾞｰ(金子)	山本	

リベロ: 永野　リベロ: 井上(航)

27	山内	福澤(久原)	**第4セット**	安永(八子)	山本	**25**
	深津(清水)	大竹(新)		深津	ｴﾄﾞｶﾞｰ	
	ｸﾋﾞｱｸ	白澤		劉	小野寺	

リベロ: 永野　リベロ: 井上(航)

			第5セット			

リベロ:　リベロ:

<監督コメント>

第２セット以降に、プレーが少しばたばたしてしまい、重要な場面で決めきることができなかった。
負けたことは残念だが、天皇杯から素晴らしいプレーを続けている選手たちは、今日もよく頑張っていたと思う。
ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。

<要約レポート>

昨日に続き連勝を狙う上位２チームの対戦となったパナソニックパンサーズとJTサンダーズの好カードは、パナソニックが勝利し１位をキープした。
互いに譲らず一進一退の攻防を繰り返した第２セット終盤、パナソニックは深津の巧みなトスワークとクビアクの緩急をつけたアタックで抜け出し３連続得点でセットを奪い返した。
続く第３セットも、クビアクのアタックやブロックで着実に得点を重ねたパナソニックが連取した。
デュースにもつれ込む接戦となった第４セット、負けられないJTはエドガーのバックアタックに加え、劉らの活躍で終盤までリードする展開となったが、パナソニックは山内のブロックポイントで同点に追いつくと、福澤、大竹らの活躍で一気に逆転し、最後はクビアクのブロック、スパイクが続けて決まり接戦を制した。

作成者 ： 境　敬一郎

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。